



道農連2024年12月の月間活動トピックス

2024（令和6）年12月27日発行（第142号）

全道地区・市町村組織委員長会議を開催

道農連は12月6日、札幌サンプラザで全道地区・市町村組織委員長会議を2部構成で開催し、全道から各市町村組織の委員長ら約120名が参加した。

会議では、第1部の農政研修会として、元農水省政策研究所長で農政アナリストの武本俊彦氏招き、「食料システムとは何か～今回の基本法改正を通じて検証～」と題した講演を行った。

第2部の全道委員長会議では、中原書記長より2024年の運動経過を報告し、「国会に提出された改正基本法案と関連法案に対し、生産現場の声が反映されるよう状況に応じて様々な運動を展開した。また、改正基本法成立後には、次期基本計画に関して立憲民主党の野田代表や農林水産部門会議、農水省等へ要請を行ってきた」と報告し、「今後もめぐる情勢を注視しながら、時宜に応じた運動を展開したい。是非、多くの盟友に運動へ参画してほしい」と呼び掛けた。

第6回執行委員会を開催

道農連は12月19日、第6回執行委員会を開催し、2024年度の運動の対策経過と今後の対策課題のほか、2024年度会計決算見込や2025年度会計予算案などについて協議した。

また、道農連の第52回定期総会を2月12日（水）～13日（木）の日程で札幌サンプラザにて行うことを確認した。

2025年度畜産物価格等決定に関する委員長談話を発表

道農連は12月25日、同日付で決定された2025年度畜産物価格等に関して、委員長談話を発表した。

談話では、「補給金と調整金の両単価を合わせて22銭増にとどまったことは、飼料価格の高止まりなどで苦境に喘ぐ酪農家にとって落胆せざるを得なく、加工原料乳が大半を占める北海道では一層の経営困難に陥ることが危惧される」として直接支払制度の導入、食料安全保障の確保、生産基盤の強化などを求めて、更なる運動を展開していくことを強調した。

1月の活動記録（上記以外）

- 5日 第3回組織財政委員会
- 11日 水田農業在り方検討農業農村WG
- 12日 道農業青色申告会簿記記帳講習会（～13日）、食・みどり・水を守る道民の会総会・研修会
- 13日 道農産協会企画調整部会
- 19日 第1回役員選考世話人会
- 23日 水田農業在り方検討農業農村WGと農水省との意見交換（Web）
- 24日 道農業再生協議会第2回水田部会

2月の活動予定

- 10日 三役会議
- 16日 会計監査
- 17日 書記長・事務局長会議、第2回役員選考世話人会
- 21日 第3回役員選考世話人会
- 22日 第7回執行委員会

◎詳しくは、「北海道農村新聞」（年間購読料1,800円・税込）をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局（TEL011-241-5416）まで。

道農連 HP はこちら ⇒ <http://donouren.sakura.ne.jp/>

